



その想い



第13号

発行人：谷泰智

30年12月8日発行

★ 富士山修行のご報告と御礼

前号でお知らせしていた大和修験會による海拔0mからの富士山修行は、台風が接近している最中にはありましたが、本当に御陰様で事故や怪我も一切無く終えることができました。

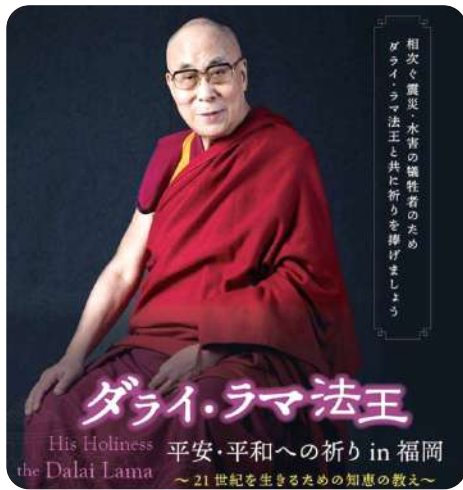
また特別祈願や回向に関して、予想を上回る数の方々にお申込みいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

来年も増々活動を広げて参ります。引き続きご声援宜しくお願い致します。

国内の各宗派から信頼を置かれる宗教新聞中外日報に今年も取り上げられました。



★ ダライ・ラマ法王の御法話を拝聴してきました



2011年まではチベット亡命政府の政治的指導者であられ、現在でもチベット仏教の最高指導者であるダライ・ラマ14世が来日されました。

ご縁が繋がって生のお話が聞けるというめったにない機会となり、会場設営のお手伝いも含めて福岡での法話会に微力ながら携わらせていただきました。

厳戒態勢の警備の中、車から降りられた法王様は少しお疲れの様子でしたが、間近でその御威光を拝ませていただくとうと低頭合掌し回廊の端に控えていた我々がお目に止まると、なんと法王様の方から握手をしていただけることに恵まれました。

本堂に進まれると、御法話に先駆けて20分ほど読経をなされ、この数年の間日本各地で起きた大災害で亡くなられたの方々に対して、大勢の日本の僧侶と共に供養を営んでくださいました。

この日の会場である東長寺の秘仏千手観音立像に對面され、一心に祈られる法王様の御後姿。そのお背中を見つめていると私には何故だか不思議な懐かしさがこみ上げてきて、気づくところらも自然と合掌をし、法王様の神聖にただただ引き付けられていました。

御法話の中の「これからの日本のお坊さん方は、読経だけでなく例えば般若心經の意味などをもっと世間の人々に解説してください」というお言葉に、私は背中を押される気がして嬉しかったです。

★ 聖護院への参拝ツアー、来年4月9日～10日に決定しました



聖護院とも調整が済み、日程は4月9日(水)からの一泊二日と決定させていただきました。あくまでツアーという趣旨で企画しておりますので、檀家様同士の親睦を深めながら本宗をより身近に感じていただき、また聖護院以外の京都観光なんかもできればと考えております。檀家様各位には、参加申し込みの用紙を年が明けてから改めて詳細を添えてお送り致します。

★ 12月27日、午後2時～

帯屋町アーケード内にて

高知県仏教青年会による

歳末助け合い托鉢に出仕します

山伏姿の私は毎年独りだけ目立っています(笑)

